

肥育後期豚への乾燥リンゴジュース粕給与による豚肉の風味向上効果

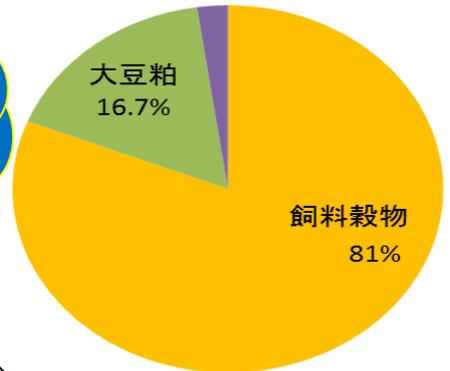
目的と特徴

- ・リンゴジュース粕は大量に排出されていますが、飼料への利用はあまり進んでいません。
- ・豚に乾燥リンゴジュース粕を給与すると尿への窒素排泄量が減少することが報告されています。
- ・そこで、肥育豚に乾燥リンゴジュース粕を給与した場合の発育や肉質への影響を調査しました。

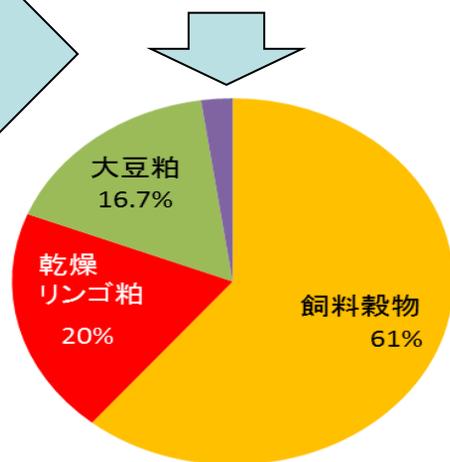
乾燥リンゴジュース粕



地域
特産
資源



飼料利用



肥育豚に 給与

- ・発育や飼料要求率が劣る傾向
- ・ロース肉のドリップロス増加の傾向
にあります...

肉の風味が
向上します



成果

穀物の代替として乾燥リンゴジュース粕を20%配合して肥育後期（体重70～115kg）に給与すると・・・

- ・豚肉の甘味や旨みが増し、飼料のTDN自給率は0%から12%に増加します。
- ・ただし、若干発育や飼料要求率は劣り、肉のドリップロスが増加する傾向があります。

乾燥リンゴジュース粕の利用方法

○給与ステージ: 肥育後期 (70~115kg)

○配合割合と計算上の栄養価 (単位: %)

	配合割合 (原物)				栄養価		TDN 自給率
	乾燥リンゴ粕	穀類* ¹	大豆粕	ビタミン・ミネラル	TDN	CP	
リンゴ粕20%飼料	20	61	16.7	2.3	67.9	14.7	12
対照飼料* ²	0	81	16.7	2.3	75.4	14.7	0

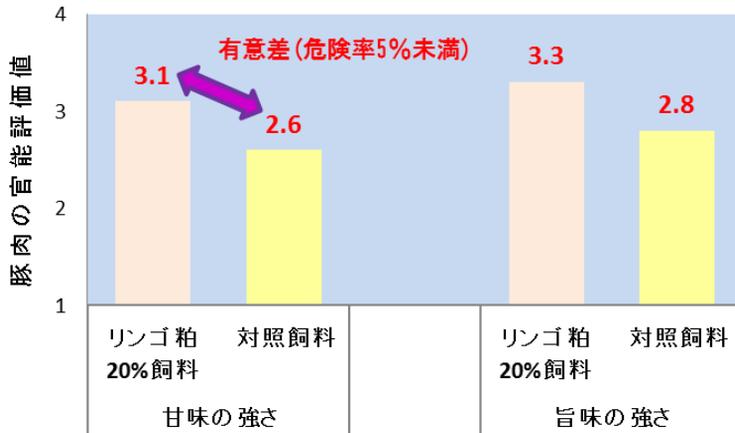
*¹: 穀類はトウモロコシ75%・大麦25%で混合したもの

*²: 比較試験に使用した対照飼料

○給与方法: 通常の不断給餌器で給与

乾燥リンゴジュース粕の給与効果

○豚肉の風味向上



*評価値: 食肉検査機関での評価
同一の基準品に対して

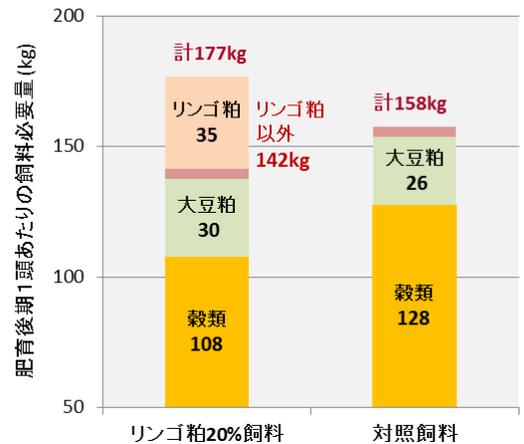
- 1: 悪い
- 2: やや悪い
- 3: 基準品と同じ
- 4: やや良い
- 5: 良い

の5段階で評価した値

- ・調査頭数: 各区4頭
- ・検査員: 3名

給与豚の発育と飼料必要量

	リンゴ粕20%飼料	対照飼料
○日増体量	965g	1,089g
○飼料要求率	3.9	3.5
○飼料必要量	リンゴ粕20%飼料は全体量が多く必要 ただし、 リンゴ粕以外の必要量は1割減	



対象作物・家畜、普及対象

- ・リンゴ、豚、リンゴ生産地域

対象農家

- ・食品製造副産物利用農場

必要な道具

- ・飼料配合機

その他

- ・リンゴジュース粕の乾燥は、自力乾燥またはエコフィードの乾燥業務実施業者に依頼。
- ・肉のドリップが増加する傾向があります。
- ・発育や飼料効率を低下させない配合方法をさらに検討する必要があります。

委託プロジェクト研究 (国産飼料プロ)

平成25年3月 農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官室